

自然と歴史、文化を受け継ぐ

山 中 学 区

YAMANAKA



素晴らしい先輩たちに続け！

山中小学校バレーボール部 ★★

市の球技大会で昭和58年(1983)～63年(1988)まで連続優勝。

つらい練習を乗り越えて

山中小学校
女子バレーボール部主将
6年 竹内 虹音さん
(平成28年度)

去年のバレー部の主将は私のお姉ちゃんでした。お姉ちゃんの姿にあこがれ、自分もチームを引っ張ろうと、主将に立候補しました。主将として、一番声を出してみんなをばげまそうと、がんばりました。多くの練習試合でたくさん勝ったり負けたりして、自信ができました。おかげで、本番の大会は市内ベスト8に入りました。今から30年ほど前の先輩たちほどではありませんが、今まで声をかけ合ったり、たくさん泣いたりしながら、つらい練習を乗り越えてきた成果です。すてきなチームや先生たちでよかったです。



東海中学校アーチェリー部 3年生一同 ★★

平成3年(1991)に創設。平成10年(1998)に全国大会優勝、平成24年(2012)のロンドンオリンピックに同部出身の小林(旧姓:蟹江)美貴さんが日本代表に選ばれ、銅メダルを獲得。

点数が出なくてもあきらめないで！

筋トレなど辛いことはたくさんあるけど、乗り越えれば楽しい！

短気な人でもできる！やりがいがあります

集中力が肝心！一つ一つのことを大切に

コツコツ続けて努力すれば、必ず実る！

メンタルが鍛えられ、性格もおおらかにになります



青山 浩之さん 美文字研究家 ★★



昭和43年(1968)生まれ。山中小学校、東海中学校、東京学芸大学大学院修了。現在は「美文字研究家」として書道・書写教育の研究活動や教員育成に取り組む、テレビや雑誌など多方面で活躍している。平成26年(2014)より、横浜国立大学教育人間科学部教授。

歴史の深い山中。温かい人々と自然に育まれた故郷。ここにも誇りに思い続けます。

詩

加藤 英夫さん 名古屋経済大学硬式野球部コーチ ★★



昭和23年(1948)生まれ。山中小学校ソフトボール部、東海中学校野球部から野球の名門、中京商業高校(現・中京大中京高)に入り、エースとして活躍。昭和41年(1966)の春夏の甲子園に出場し、全試合完投、連続優勝。近鉄バファローズに入団。平成24年(2012)より名古屋経済大学硬式野球部のコーチ。

人と人とのつながりを大切に！

甲子園では1球投げるごとに初回と思って投げ、力まないように気を付けました。そして人の良いところを見つけて吸収するよう努めました。ピッチャーは自己流ではなく投げ方をきちんと学ぶこと。これが故障を防ぐコツです。自分の意志をはっきり伝えることも大切です。実は私も最初はキャッチャーで、自分からピッチャーをやらせてほしいと監督に頼んだのです。野球を通じて多くのことを学び、いろいろな場面で救われました。あの記録を達成できたのは良い監督と良い仲間に出会え、チームの和があったからです。学校でも会社でも人の和、人とのつながりを大切にしたいと思っています。



舞木町で加藤投手の優勝パレードが行われた

魅力あふれる「まちものがたり」ができました。多くの皆様の協力に感謝いたします。

〔作成委員会〕 石原敏彌/安藤雅彦/長坂信一/永井利秋/横井弘/岡幸雄/愛知幸一/青山道雄

〔参考資料〕 山中学校百年史/ふるさとやまなか/さらに精進 中京高校100勝達成

〔表紙写真〕 第38回歩け歩け大会(2016年2月撮影) 〔写真協力〕 山中小学校



1 学びと交流の場、東部市民センター。文化やスポーツなどの講座を開いている



2 明治39年に建てられた木造校舎と東側の鉄筋校舎（昭和42年改築）が並ぶ（昭和55年撮影）



3 山中小学校の開校100周年記念で完成した遊具「グリーンマウント」。子どもたちの人気の遊び場



4 第8回ライオンカップ全日本バレーボール小学生大会で優勝した「山中JVC」



5 車両を検査して修理を行う名古屋鉄道の舞木検査場。毎年「名鉄でんしゃまつり」を開催

山中学区の歩み

一八八〇年 ■ 明治 13
一八八九年 ■ 明治 22

額田郡23学区第21番小学山中学校開校
舞木・羽栗・山綱・池金の4か村が合併し、山中村誕生。
役場を山中学校校庭に建てる

一九一六年 ■ 大正 5
一九二六年 ■ 大正 15
一九二九年 ■ 昭和 4
一九三三年 ■ 昭和 8
一九四七年 ■ 昭和 22

舞木、中柴地区に電灯がつく（大正11年に羽栗、14年に池金・山綱）
愛知電気鉄道（後の名古屋鉄道）の愛電山中停留所が開業
山中村に電話が開設
花祭りが始まる（↓特集）
舞木巡査駐在所が開設

一九四八年 ■ 昭和 23
一九五五年 ■ 昭和 30
一九五六年 ■ 昭和 31
一九五七年 ■ 昭和 32

山中小学校と改称、東海中学校開校
山中村役場が舞木稚蚕共同飼育所に移転
山中村解村、岡崎市に合併
山中保育園開園

一九六四年 ■ 昭和 39
一九六五年 ■ 昭和 40
一九六七年 ■ 昭和 42

岡崎東部簡易水道完工
山中城址が市の文化財に指定
東京オリンピックの聖火ランナーが国道1号を走る
池金町に美合ゴルフ場（現在の岡崎カントリー倶楽部）がオープン



NHKの視聴者参加型の公開番組「第90回ふるさとの歌まつり」に出演。岡崎市民会館で行われた

一九六八年 ■ 昭和 43
一九六九年 ■ 昭和 44
一九七〇年 ■ 昭和 45
一九七一年 ■ 昭和 46
一九七二年 ■ 昭和 47
一九七六年 ■ 昭和 51
一九七七年 ■ 昭和 53
一九七九年 ■ 昭和 54
一九八〇年 ■ 昭和 55
一九八二年 ■ 昭和 57

山中小学校東側の国道1号に歩道橋が完工（昭和53年に撤去）
山中八幡宮のデンデンガッサリがNHKふるさとの歌まつりで紹介
東名高速道路が静岡ICから岡崎ICまで2月に部分開通、同年5月に全線開通
国民宿舎桑谷山荘オープン（平成24年12月に閉館）

一九八四年 ■ 昭和 59
一九八五年 ■ 昭和 60
一九八六年 ■ 昭和 61
一九八八年 ■ 昭和 63
一九九六年 ■ 平成 8
一九九七年 ■ 平成 9

羽栗団地が完成
山中八幡宮のデンデンガッサリが市の無形民俗文化財に指定
山中八幡宮の乱舞面が市の文化財に指定
第1回歩け歩け運動（現在は歩け歩け大会）が始まる
岡崎市東部支所・市民センター完工…1
山中小学校開校100周年記念式典…2・3
山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地が市の天然記念物に指定
山中城址遊歩道が完成
市営住宅舞木荘、昭和62年に山中荘が完成
山中八幡宮のクスノキが市の天然記念物に指定
舞木運動広場が開設

一九八八年 ■ 昭和 61
一九八八年 ■ 昭和 63
一九九六年 ■ 平成 8
一九九七年 ■ 平成 9

山中学区市民ホームが開館
第8回全日本バレーボール全国大会で「山中JVC」が優勝…4
山中小学校が全日本健康づくり推進学校「すこやか大賞」を受賞
舞木町に名古屋鉄道の車両工場、舞木定期検査場（現在の舞木検査場）ができる…5

一九九八年 ■ 平成 10
二〇〇四年 ■ 平成 16
二〇〇八年 ■ 平成 20
二〇〇九年 ■ 平成 21
二〇一〇年 ■ 平成 22
二〇一二年 ■ 平成 24
二〇一五年 ■ 平成 27
二〇一六年 ■ 平成 28

東海中学校アーチェリー部全国大会男女アベック優勝、女子個人優勝
山中八幡宮周辺が県自然環境保全地域に指定
東部地域福祉センター開館
レンジ畑で遊ぼう会が始まる
池金町・舞木町に岡崎東部工業団地が造成
県道324号生平幸田線に山中バイパスが開通
国道473号バイパスが開通
北山湿地が市の天然記念物に指定

「名鉄でんしゃまつり」で行われる恒例の名鉄電車とのつな引き。さて、勝敗の結果は…



山中学区の産業

山中学区は三河山地の西端部に位置し、扇子山や桑谷山など高さ400mほどの山々に囲まれています。山綱川・羽栗川・鉢地川・立川の四つの川が流れ、この豊かな川の水を利用して、米や麦、綿、藍などが作られていました。

明治から昭和の初めには養蚕が盛んに行われました。農家では蚕の幼虫が繭を作るまで育て、その繭がお金になりました。山中小学校の運動場にも「おかいこさん」のエサになる桑の木が植えられていました。

水に恵まれた山中学区はガラ紡にも適していました。明治20年代に舞木地区で山綱川の水を利用した水車ガラ紡が始まり、大正時代には山綱地区、池金地区では鉢地川を利用して水車を回し、糸を紡ぎました。昭和30年代の最盛期には計21もの紡績工場があったそうです。

昭和40年代には羽栗町に工場が誘致されます。国道1号や東名高速道路などが近く、工業製品の輸送にも便利なことから平成22年に山中学区と本宿学区の境に岡崎東部工業団地が造成。平成28年には新東名高速道路の岡崎東ICが完成し、交通アクセスの良いエリアとして期待されています。

「山中」の地名

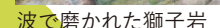
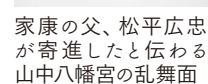
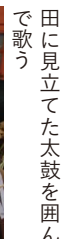
「山中」という地名は鎌倉時代から使われていました。室町時代には「山中郷」、江戸時代には「山中宿」と呼ばれ、歌川広重の浮世絵にも、「山中」の文字が記されています。明治22年には舞木・羽栗・山綱・池金の4村が合併して山中村が誕生し、ますます「山中」という地名が浸透していきます。昭和30年に岡崎市と合併し、山中村は解村。町名としての「山中」はなくなりましたが、学校や学区、名鉄電車の駅名は変わらぬまま。歴史の古い「山中」という名は、現在も親しまれています。



平成28年に山中城址及び遊歩道の環境再整備を行い、城郭各所に案内看板や幟旗を設置した

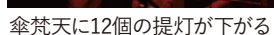


室町時代から続く古式ゆかしい御田植え神事。毎年1月3日の午後2時から山中八幡宮で行われています。五穀豊穡を願い、米づくりの様子を歌や所作で表現します。最初に「deen deen gassari ya」^①と歌い、これが祭りの名の由来。大きな鏡餅を背負った牛役の人が床に倒れると豊作を表し、歓声が沸きます。

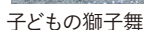


- 岡崎カントリー倶楽部
- 獅子岩(ししいわ)

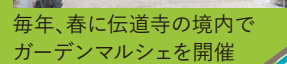
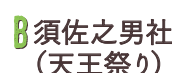
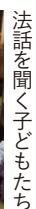
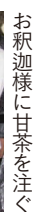
毎年7月下旬の土曜日に行われる虫送り行事の一つ。日中は子どもが神輿を担ぎ、夜は火を付けた竿灯行列が羽栗川に沿ってゆっくりと進みます。ほのかに揺れる竿灯は幻想的で、別名「竿灯祭り」とも呼ばれています。



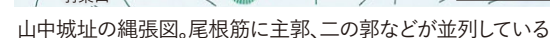
毎年10月の日曜日に行われます。子どもの獅子舞を奉納し、神輿を担いで町内を練り歩きます。



4月8日のお釈迦様の誕生日を祝う仏教行事で、学区の四つの寺が持ち回りで行っています。花御堂と呼ばれる御堂のなかに小さなお釈迦様の像を置き、甘茶をかけます。

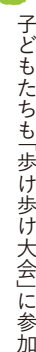


♪戦雲はらむ三河路を進む八代松平
山中城の武士の攻防すべて今いずこ
是の字の夢を果たしたる東照君の大偉業
(「岡崎開市450年讃歌」の2番)



D 山中城址を歩く

旧東海道を北に見下ろす城山（舞木町字城山）の山頂尾根一帯に築かれた山城。東西400m、南北200mの県下最大級の規模を誇り、空堀や曲輪などの遺構を見ることが出来ます。城山の東と西に登り口があり、山頂までは遊歩道が整備されています。



山中学区では毎年2月に住民参加の「歩け歩け大会」を開いています。山中小学校を起点に貴重な遺跡が残る山中城址を歩いたり、神社や寺を巡ります。

山中学区に棲んでいる 小さな生き物たち

北山湿地

池金町のゴルフ場、岡崎カントリー倶楽部の東、標高170〜190mの尾根の谷間に大小10か所あまりの湿地が点在しています。山ひだから流れる湧水が滞留し、このような湿地になりました。ここにしか生息しない生き物や植物が多く見られることから、平成21年に市自然環境保護区に、平成28年に市天然記念物に指定されました。この豊かな自然を未来の子どもたちに伝えるため、大切

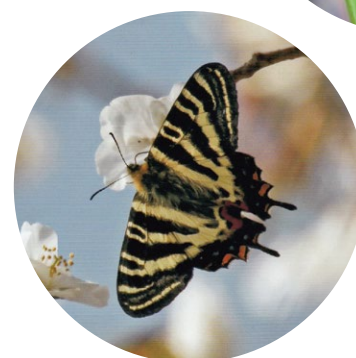
に守っていききたいです。



北山湿地の観察会



体長約2cmのハッチョウトンボ。オスは鮮やかな赤色、メスは黄色と黒のしま模様



里山の春の女神と呼ばれるギフチョウ。市内では北山湿地でしか見られない



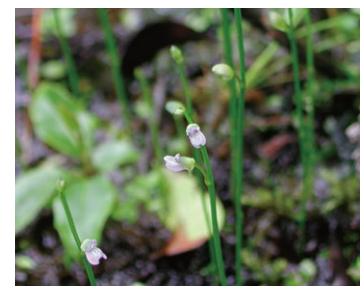
ナンカイワカガミの群生地



青色の花を咲かせるハルリンドウ



地衣類の一種、コアカミゴケ



可憐なムラサキミカキグサ



北山湿地を覆うオオミズゴケ



自然観察員に学ぶ



北山湿地の入口

ホタル

山中学区を流れる山綱川、羽栗川、鉢地川、立川ではホタルが飛び交います。平成20年からホタルを守るために保護活動を行い、ホタルが育ちやすい環境を整えてきました。



ゲンジボタル
(山中小学校3年 山宮七歩さん
平成27年6月撮影)

花摘み遊び

毎年9月に山中学区の休耕田にレンゲの種をまいています。翌年4月に花を咲かせたレンゲ畑で、子どもたちと一緒に花摘み遊びをします。レンゲの花の冠や首飾りなど、草花遊びを通して自然環境を保護する気持ちを育んでいます。

山中八幡宮の森

山中八幡宮の森はカシやシイに覆われています。平成16年に県自然環境保全地域に指定され、木を切ったり植えたりすることが制限されました。この森には絶滅危惧種に指定されているルリミノキ、オオフユイチゴなどの植物、珍しいヒメハルゼミなどが棲んでいます。



参道入り口のクスノキ。市指定の天然記念物



体長2.5〜3cmのヒメハルゼミ



山中っ子もレンゲの花が大好き



花かんむりをのせておひめ様に



環境保全活動のみなさんと一緒に